

創立 50 周年記念 病院対抗ボウリング大会(北部地区)

本年京都私立病院協会は創立 50 周年を迎え記念事業の 1 つとして、10 月 5 日にしょうぞんボウルにおいて病院対抗ボウリング大会を京都府病院協同組合の協賛を受けて開催したのに引き続き、11 月 16 日にサンケイボウルにて北部地区の会員病院を対象に病院対抗ボウリング大会を開催いたしました。

当日は 5 病院 15 チームの参加で総勢 60 名余りの選手及び関係者と各病院から応援に来られた方々で会場はほぼ満杯となり、まず初めに山口浩二実行委員の開会挨拶、ルール説明、参加チームの打球練習が行われました。その後、ゲーム開始前に山口実行委員が始球式を行い、大歓声の中ゲームがスタートしました。

会場内の関係者がモニター上のスコアを見守る中最終のゲームが終了しました。会場の所々で歓声が上がリ、病院が違っても良いプレーができればお互いに拍手でたたえあうなどの病院相互の親睦が深まった大会となりました。

全ゲーム終了後は、チーム・個人成績の最終結果を発表した後に表彰式を行いました。団体の部では優勝、準優勝、第 3 位に賞状とトロフィーと賞品が授与され、ブービーのチームには賞品が手渡されました。また個人の部では優勝、準優勝、第 3 位のそれぞれに賞状と賞品が授与されました。表彰式終了後にはお楽しみ抽選会を実施し、最後に山口実行委員より閉会挨拶が行われ、大盛会のうちに終了しました。

当日のゲーム成績は以下のとおりです。

○団体の部

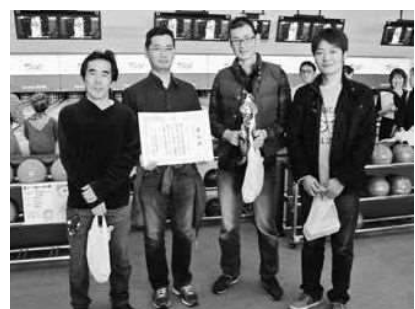
- 優 勝 宮津武田病院 B
(岸本 真・大西智貴・南谷智恵・安藤博之)
総得点 1096 点
- 準優勝 宮津武田病院 A
(梶恵満寿美・蒲田実代子・名定由佳・杣鳥啓示)
総得点 1064 点
- 第三位 もみじヶ丘病院 A
(塩見裕季・足立寛郎・土井敏行・笠垣 純)
総得点 1062 点



優勝 宮津武田病院 B チーム



準優勝 宮津武田病院 A チーム



第三位 もみじヶ丘病院 A チーム

○個人の部

- 優勝 梶恵満寿美（宮津武田病院A・看護師）
総得点 329点
- 準優勝 上山古登美（京都ルネス病院A・看護師）
総得点 321点
- 第三位 岸本 真（宮津武田病院B・事務）
総得点 306点



個人優勝・準優勝・第三位

総評 創立50周年記念病院対抗ボウリング大会

実行委員長 角尾 高寛（なぎ辻病院）

京都私立病院協会創立50周年記念行事のボウリング大会が10月5日（京都市域）と11月16日（北部大会）の日程で開催され、京都市域は40チーム159名、北部地区は15チーム60名で合わせて両日55チーム219名の参加者でチーム戦・個人戦と熱戦が繰り広げられました。

創立50周年記念ということもあり、今大会は今まで以上の豪華景品を用意して大会当日を迎えました。受付開始時間よりも相当早くに来られ準備運動をされている方や、前大会のリベンジを果たしに来たという方がおられ、この大会への意気込みが十分伝わってきました。また各チームの選手の応援に来られていた家族の方や同僚の方が多く、和やかな雰囲気の中で試合は進みました。

各々のレーンではストライク、スペアを取る度に大きな歓声が上がりハイタッチをする光景があちこちで見受けられました。またなかなか調子が上がらないのか、ボウルが合わないのか、他のレーンのスコアが気になるのか、ゲームの合間にレーンを行き来して談笑する人などもみられました。

大会結果は、京都市域では共和病院Aチームがハイスコアを出し優勝し、北部地区では宮津武田病院Bチームが接戦の末優勝されました。

また、京都市域の個人優勝は前大会同様、京都南西病院の選手が断トツで優勝され、北部地区は宮津武田病院の選手がハイスコアで優勝されました。

チーム・個人賞の表彰後には、お待ちかねのお楽しみ抽選会が和やかな雰囲気の中で実施され、両大会とも盛会で終了することが出来ました。

帰りがけには「毎年開催してほしい」「ハンディの見直しをしてほしい」「景品を少なくしてもっと豪華な景品にしてほしい」といった次回大会の際に参考とさせて頂く意見も多く頂きました。

最後になりましたが、私は今大会は選手としては参加せず運営側で参加させて頂きましたが、試合を眺めながら「1人のストライクを皆で喜んでいる姿」と「皆で同じ目標に向かって競い合う姿」がチーム内での距離感をさらに縮めているのが感じ取れました。このような親睦が普段の仕事にも良い影響に繋がるのではないかと思いますので、次回大会も沢山の参加者をお待ちしております。

会員の方々や選手・事務局の皆様には大会運営にご理解とご協力頂きありがとうございます。ありがとうございました。

